

科目名：音楽療法で用いる楽器について

氏名 八木 美砂子

【講義のねらい】

音楽療法で用いる楽器には、音を発するだけでなく、目的に応じたさまざまな役割がある。対象者が楽器のどこに魅力を感じ、関心を持つかによっても、楽器の役割は違ってくる。また、音や形状・振動の特徴などを探りながら、セッションにどのように生かすことができるのかを考える。

【講義概要】

音楽療法で用いられる楽器の役割を考える。

- ・形状でつながる
- ・感触でつながる
- ・振動でつながる
- ・音でつながる
- ・音楽療法において楽器がどのような存在になるかを考える。

【教科書(テキスト)】

なし

【参考文献】

- 『音楽ってどうやるの』野村誠・片岡祐介著 あおぞら出版
『音楽療法・音あそび』下川英子著 音楽之友社